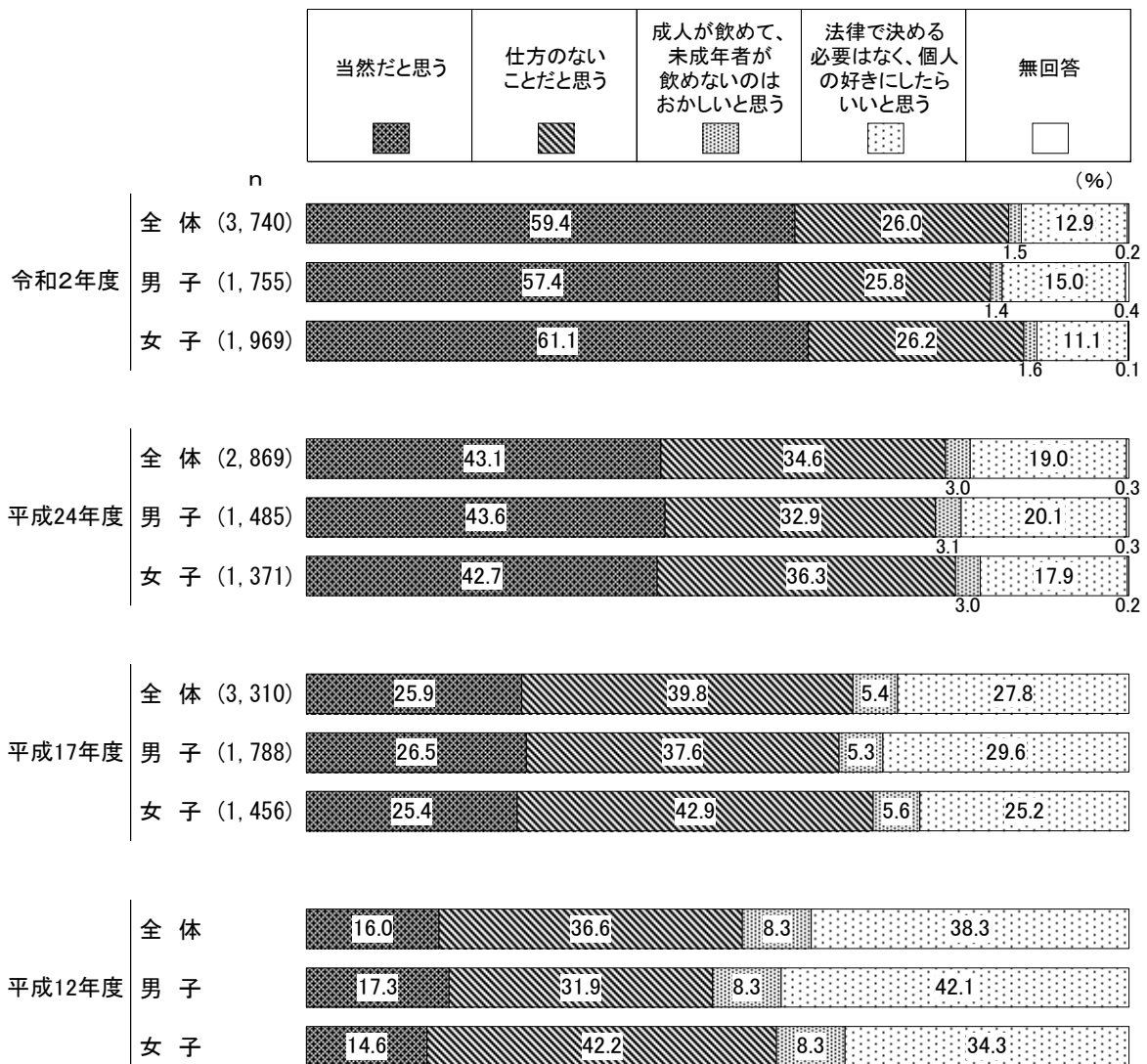


4. 飲酒

(1) 未成年者の飲酒意識

問20 未成年者の飲酒禁止をどう思いますか。

図表4-1-1 未成年者の飲酒意識（経年比較）



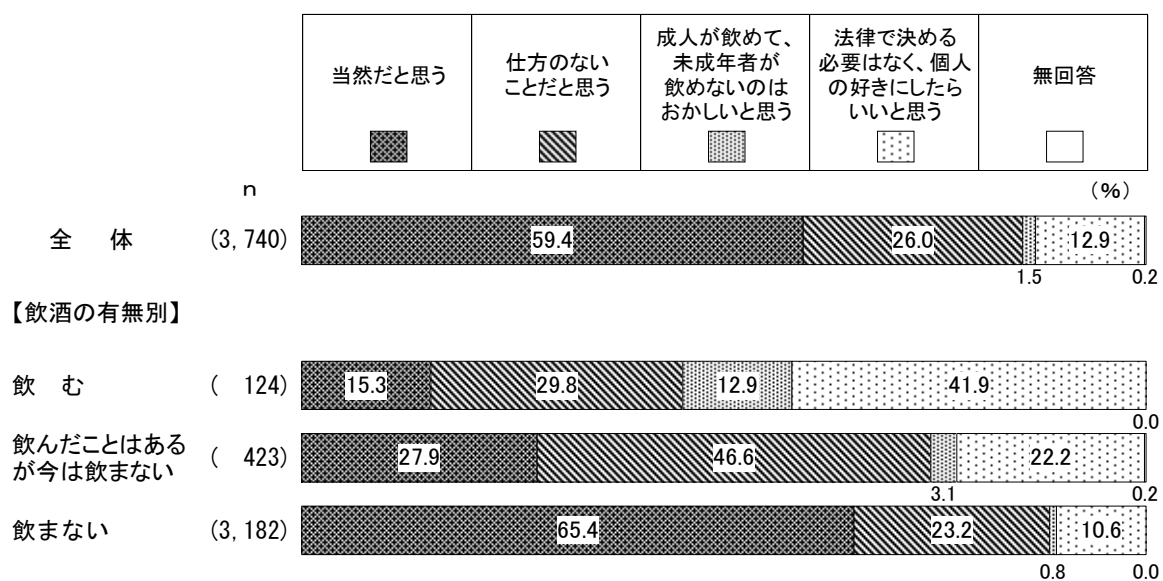
未成年者の飲酒禁止について聞いたところ、「当然だと思う」が59.4%で最も高く、次いで「仕方のないことだと思う」（26.0%）、「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」（12.9%）、「成人が飲めて、未成年者が飲めないのはおかしいと思う」（1.5%）となっている。

男女別でみると、「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」は男子（15.0%）が女子（11.1%）より3.9ポイント高くなっている。一方、「当然だと思う」は女子（61.1%）が男子（57.4%）より3.7ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「当然だと思う」は平成24年度より16.3ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

男女別では「当然だと思う」は平成24年度より男子で13.8ポイント、女子で18.4ポイント、それぞれ増加している。

図表 4 - 1 - 2 未成年者の飲酒意識（飲酒の有無別）

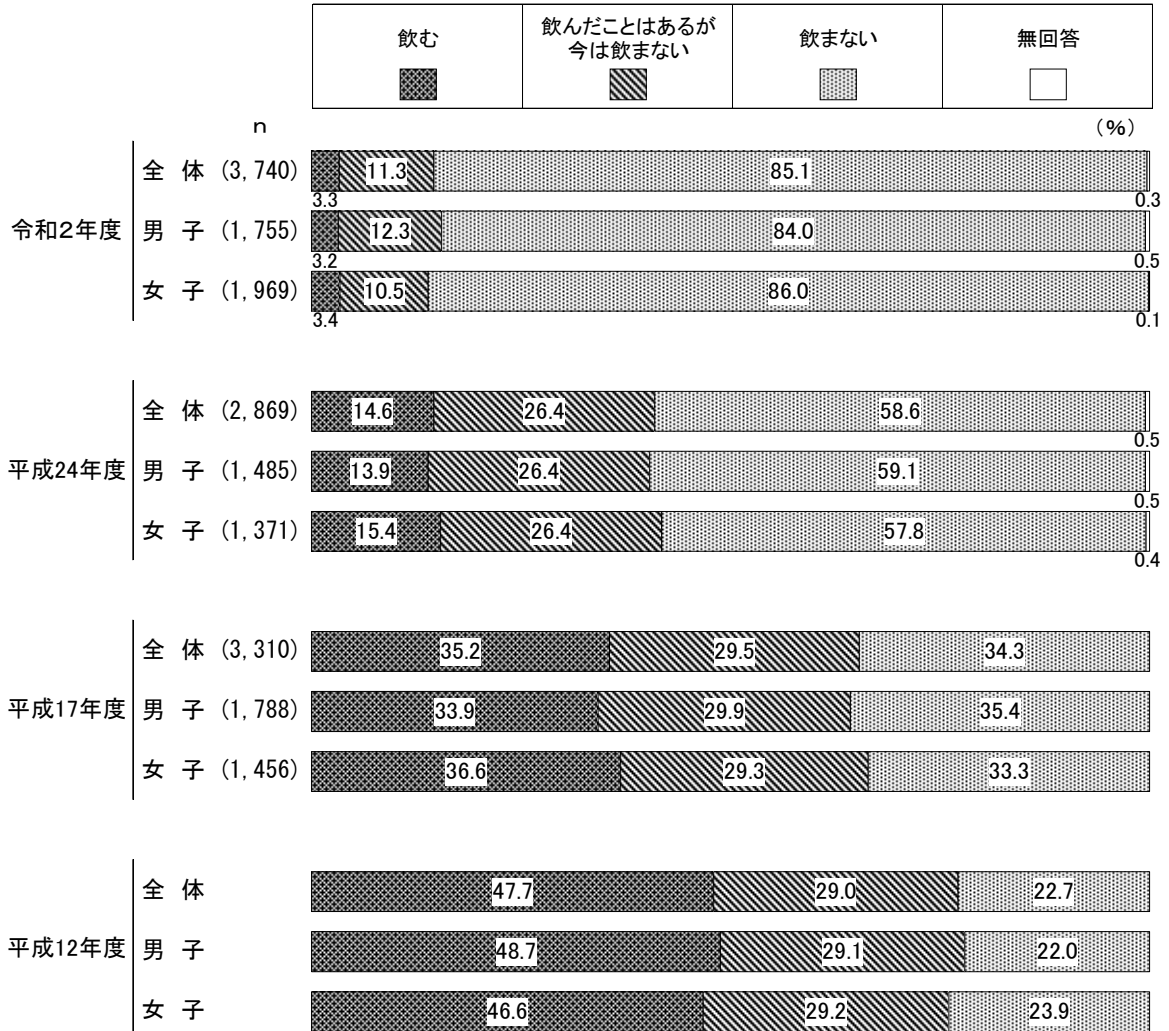


飲酒の有無別で見ると、「当然だと思う」は“飲まない人”で65.4%と高くなっている。「仕方のないことだと思う」は“飲んだことはあるが今は飲まない人”で46.6%と高くなっている。「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」は“飲む人”で41.9%と高くなっている。

(2) 飲酒の有無

問21 あなたは、お酒（ビール、チューハイなどを含む）を飲みますか。

図表4-2-1 飲酒の有無（経年比較）



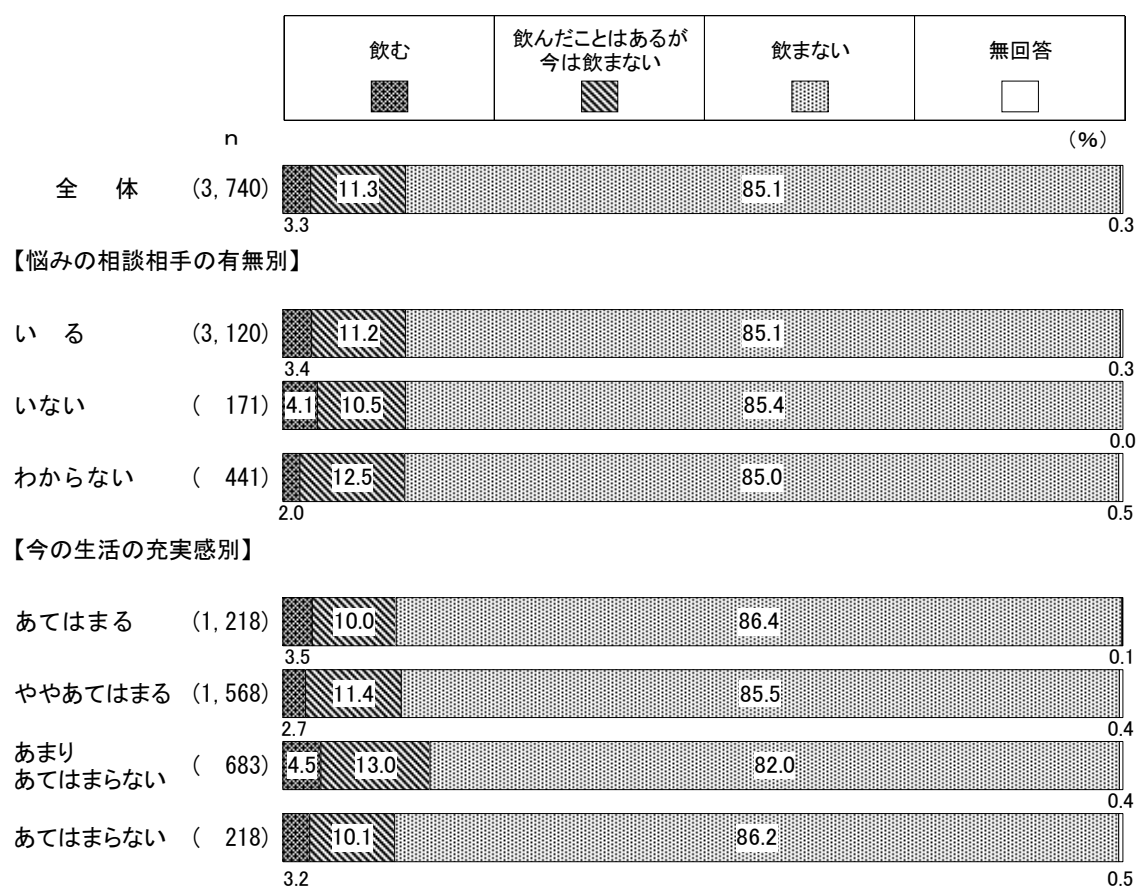
お酒を飲むか聞いたところ、「飲む」が3.3%、「飲んだことはあるが今は飲まない」は11.3%となっている。一方、「飲まない」は85.1%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体では「飲まない」は平成24年度より26.5ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

男女別では「飲まない」は平成24年度より男子で24.9ポイント、女子で28.2ポイント、それぞれ増加している。

図表 4-2-2 飲酒の有無（悩みの相談相手の有無別、今の生活の充実感別）



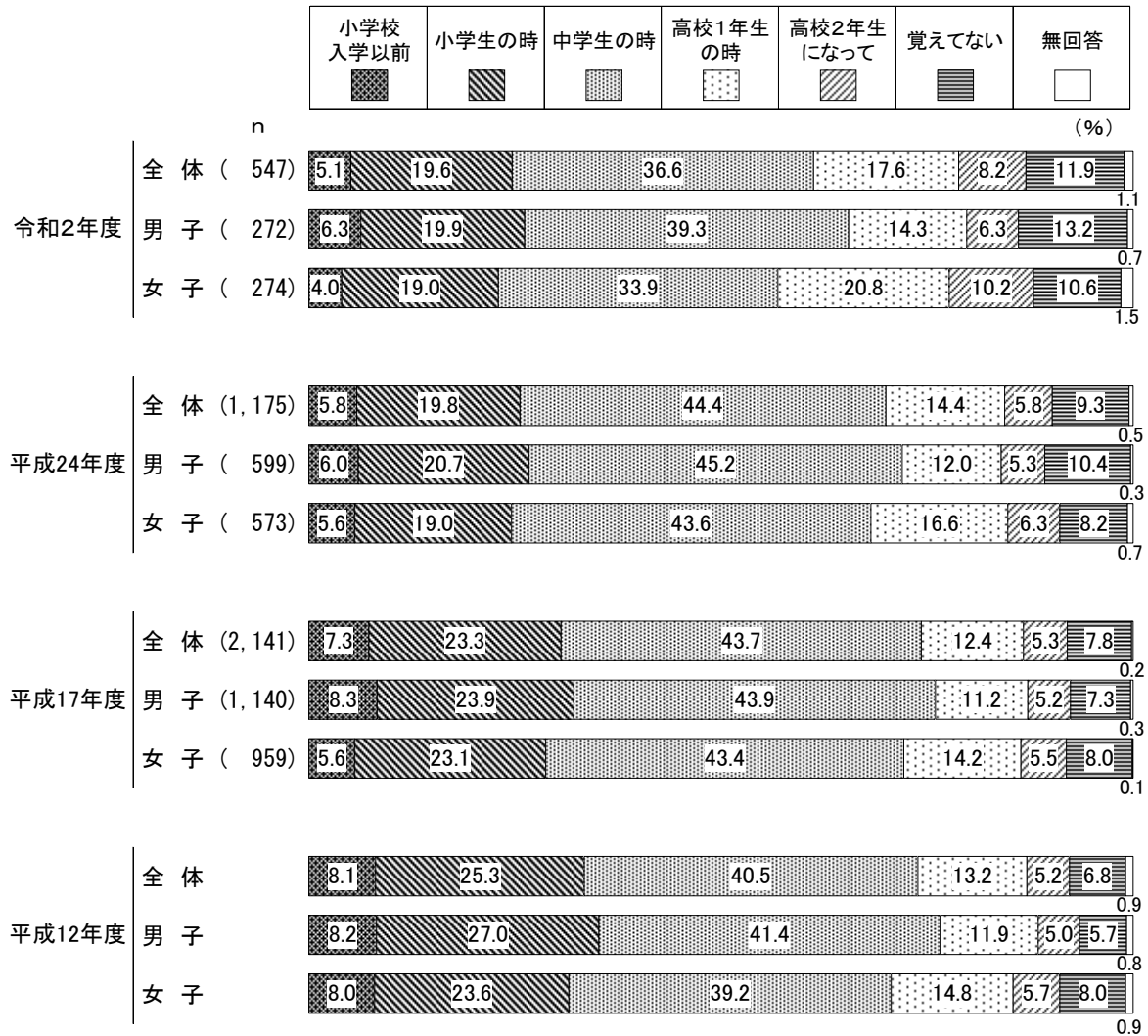
悩みの相談相手の有無別でみると、大きな違いはみられない。

今の生活の充実感別でみると、大きな違いはみられない。

(3) 初めての飲酒の時期

問21で「飲む」または「今は飲まない」と答えた方へ
問21-1① 初めてお酒を飲んだのはいつですか。

図表4-3-1 初めての飲酒の時期（経年比較）



お酒を「飲む」または「今は飲まない」と答えた人（547人）に、初めてお酒を飲んだのはいつか聞いたところ、「中学生の時」が36.6%で最も高く、次いで「小学生の時」（19.6%）、「高校1年生の時」（17.6%）、「覚えてない」（11.9%）となっている。

男女別で見ると、「高校1年生の時」は女子（20.8%）が男子（14.3%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「中学生の時」は男子（39.3%）が女子（33.9%）より5.4ポイント高くなっている。

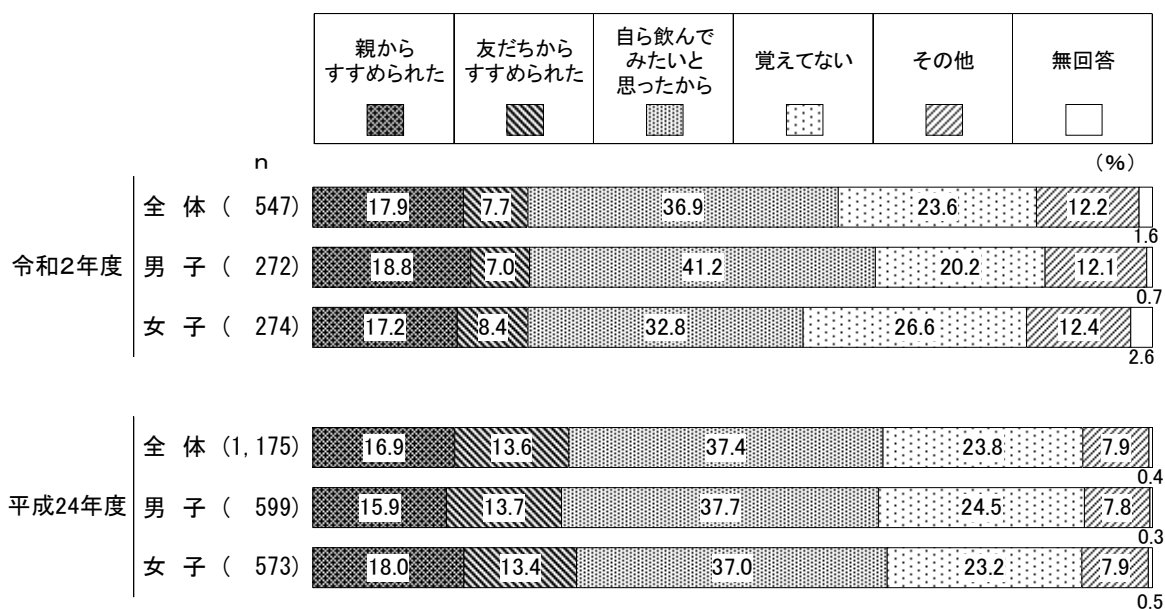
過去の調査と比較すると、全体では「高校1年生の時」は平成24年度より3.2ポイント増加している。一方、「中学生の時」は平成24年度より7.8ポイント減少している。

男女別では「高校1年生の時」は平成24年度より女子で4.2ポイント、「高校2年生になって」は平成24年度より女子で3.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「中学生の時」は平成24年度より男子で5.9ポイント、女子で9.7ポイント、それぞれ減少している。

(4) 飲酒のきっかけ

問21で「飲む」または「今は飲まない」と答えた方へ
問21-1② お酒を飲んだきっかけはなんですか。

図表4-4-1 飲酒のきっかけ（経年比較）



お酒を「飲む」または「今は飲まない」と答えた人（547人）に、お酒を飲んだきっかけを聞いたところ、「自ら飲んでみたいと思ったから」が36.9%で最も高く、次いで「覚えてない」（23.6%）、「親からすすめられた」（17.9%）、「友だちからすすめられた」（7.7%）となっている。

男女別で見ると、「自ら飲んでみたいと思ったから」は男子（41.2%）が女子（32.8%）より8.4ポイント高くなっている。一方、「覚えてない」は女子（26.6%）が男子（20.2%）より6.4ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「友だちからすすめられた」は平成24年度より5.9ポイント減少している。

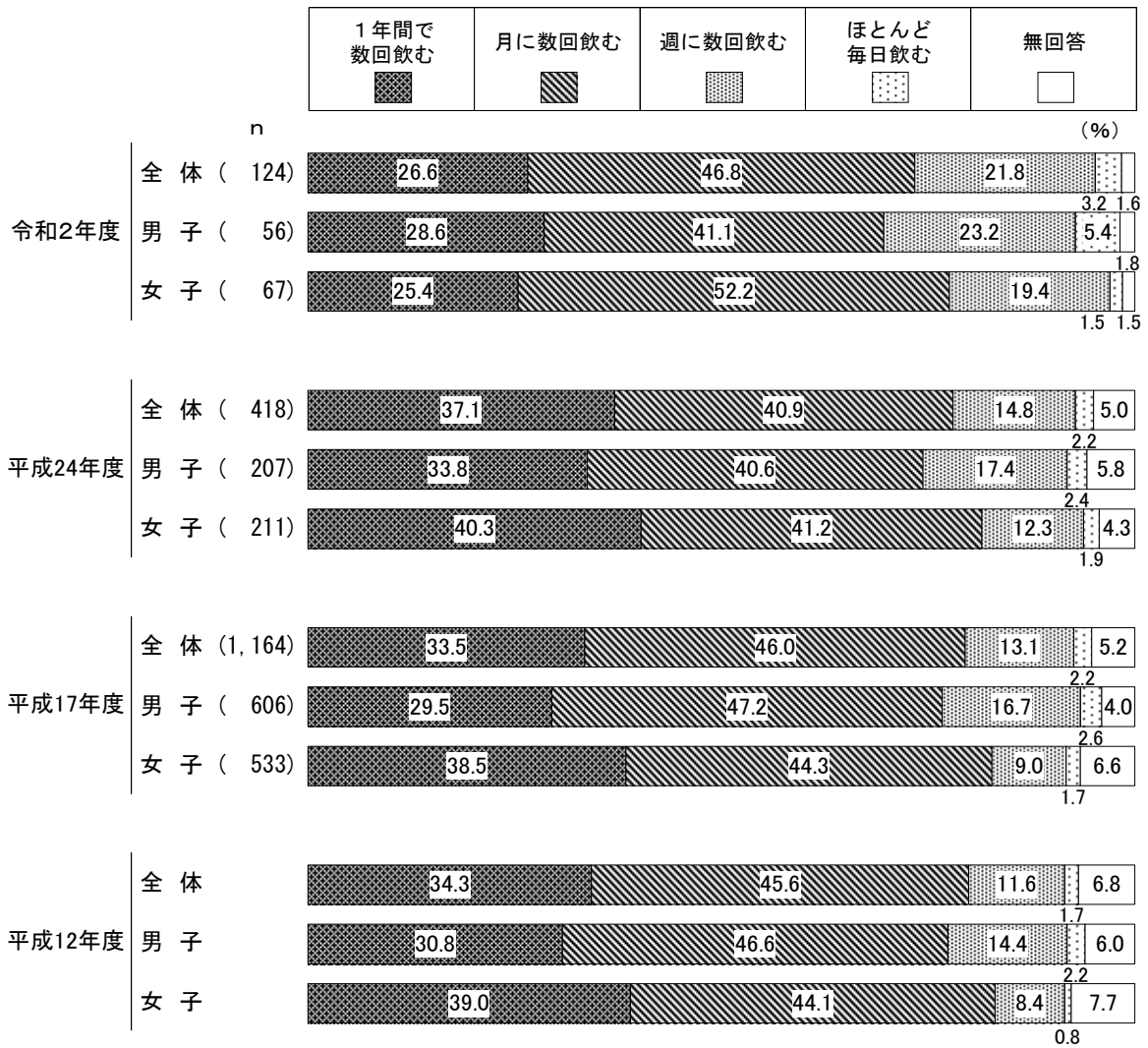
男女別では「自ら飲んでみたいと思ったから」は平成24年度より男子で3.5ポイント、「覚えてない」は平成24年度より女子で3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「友だちからすすめられた」は平成24年度より男子で6.7ポイント、女子で5.0ポイント、それぞれ減少している。

(5) 飲酒の頻度

問21で「飲む」と答えた方へ

問21-2 どのくらい飲みますか。

図表4-5-1 飲酒の頻度（経年比較）



お酒を「飲む」と答えた人（124人）に、どのくらい飲むか聞いたところ、「月に数回飲む」が46.8%で最も高く、次いで「1年間で数回飲む」（26.6%）、「週に数回飲む」（21.8%）、「ほとんど毎日飲む」（3.2%）となっている。

男女別で見ると、「月に数回飲む」は女子（52.2%）が男子（41.1%）より11.1ポイント高くなっている。

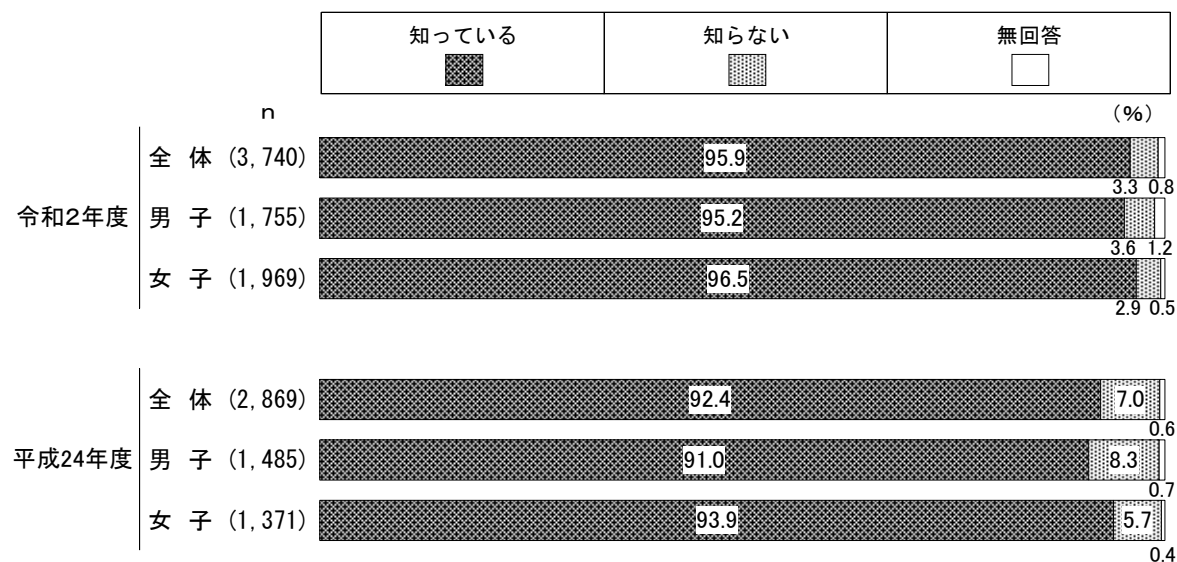
過去の調査と比較すると、全体では「週に数回飲む」は平成24年度より7.0ポイント増加している。一方、「1年間で数回飲む」は平成24年度より10.5ポイント減少している。

男女別では「月に数回飲む」は平成24年度より女子で11.0ポイント、「週に数回飲む」は平成24年度より男子で5.8ポイント、それぞれ増加している。一方、「1年間で数回飲む」は平成24年度より男子で5.2ポイント、女子で14.9ポイント、それぞれ減少している。

(6) 心や体への影響についての認知

問22 飲酒による心や身体への悪い影響について知っていますか。

図表4-6-1 心や体への影響についての認知（経年比較）



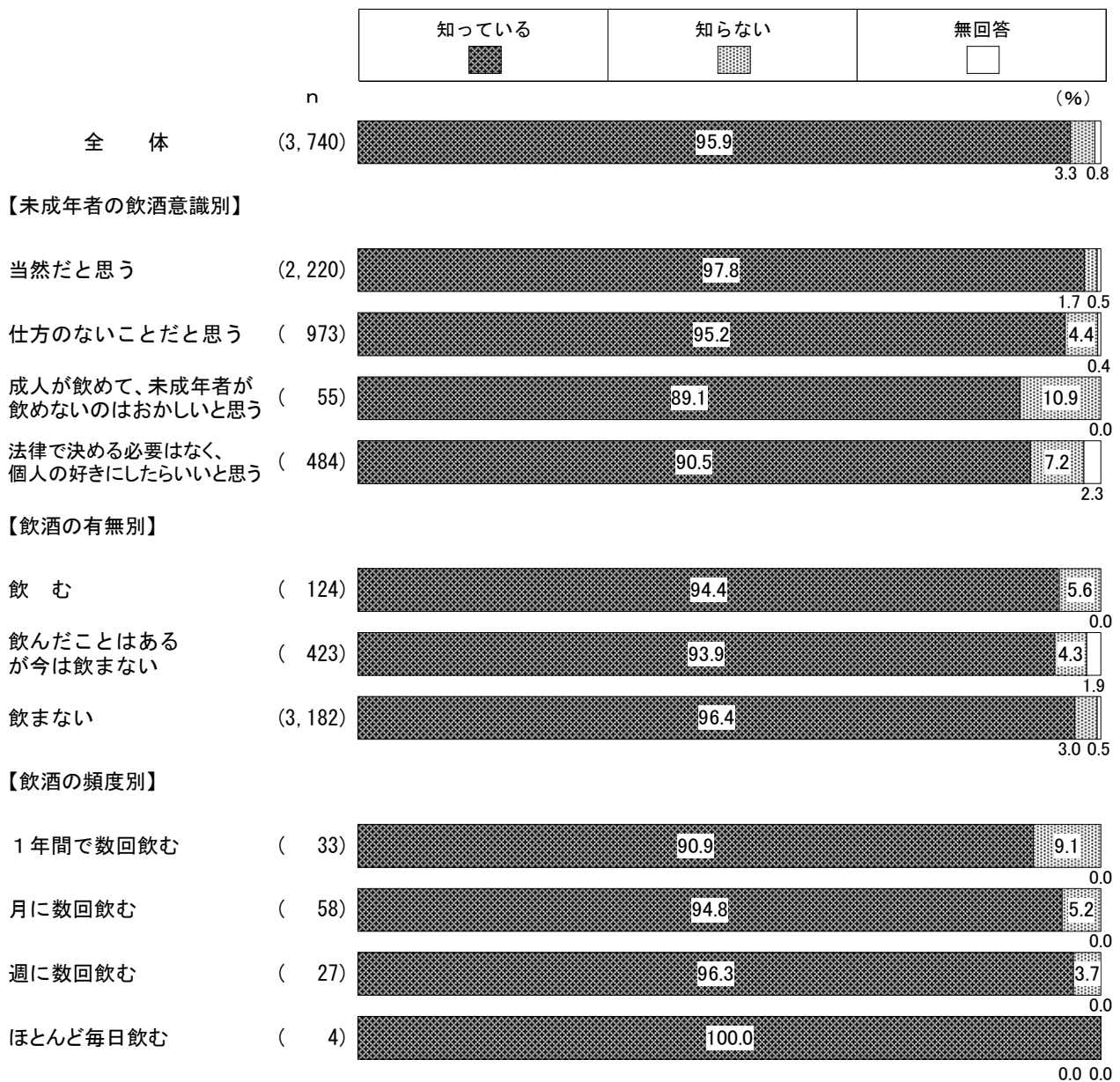
飲酒による心や身体への悪い影響について知っているか聞いたところ、「知っている」が95.9%、「知らない」は3.3%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、過去の調査と比較すると、全体では「知っている」は平成24年度より3.5ポイント増加している。

男女別では「知っている」は平成24年度より男子で4.2ポイント増加している。

図表 4-6-2 心や体への影響についての認知（未成年者の飲酒意識別、飲酒の有無別、飲酒の頻度別）



未成年者の飲酒意識別でみると、「知っている」は“当然だと思う”で97.8%と高くなっている。

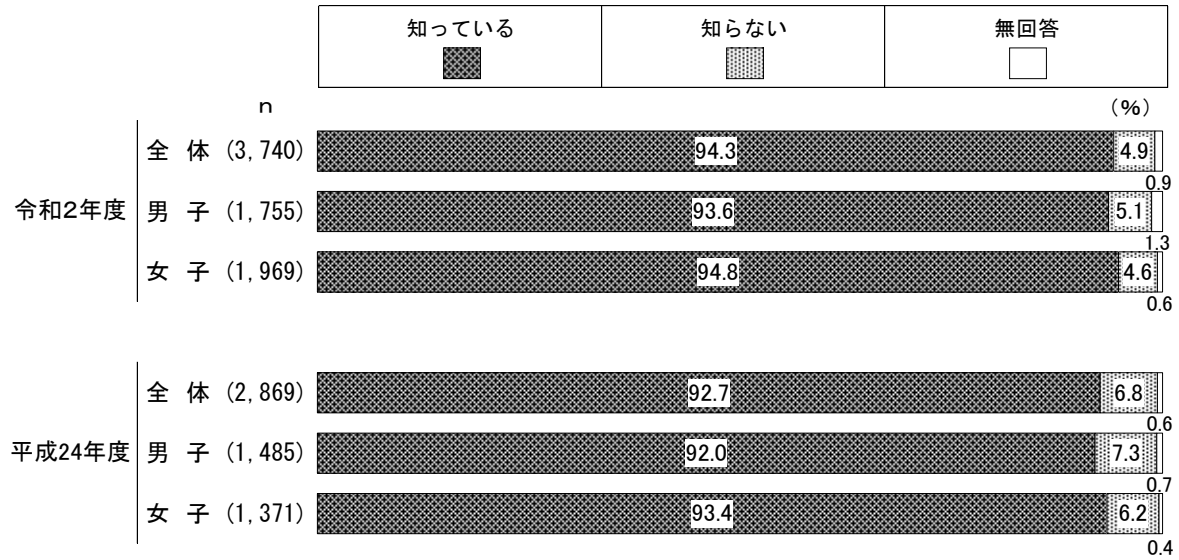
飲酒の有無別でみると、「知っている」は“飲まない人”で96.4%と高くなっている。

飲酒の頻度別でみると、「知っている」は飲酒頻度が高くなるほど割合が高くなっている。

(7) 急性アルコール中毒についての認知

問23 未成年の飲酒は急性アルコール中毒になりやすく、場合によっては死亡することもあることを知っていますか。

図表 4-7-1 急性アルコール中毒についての認知（経年比較）

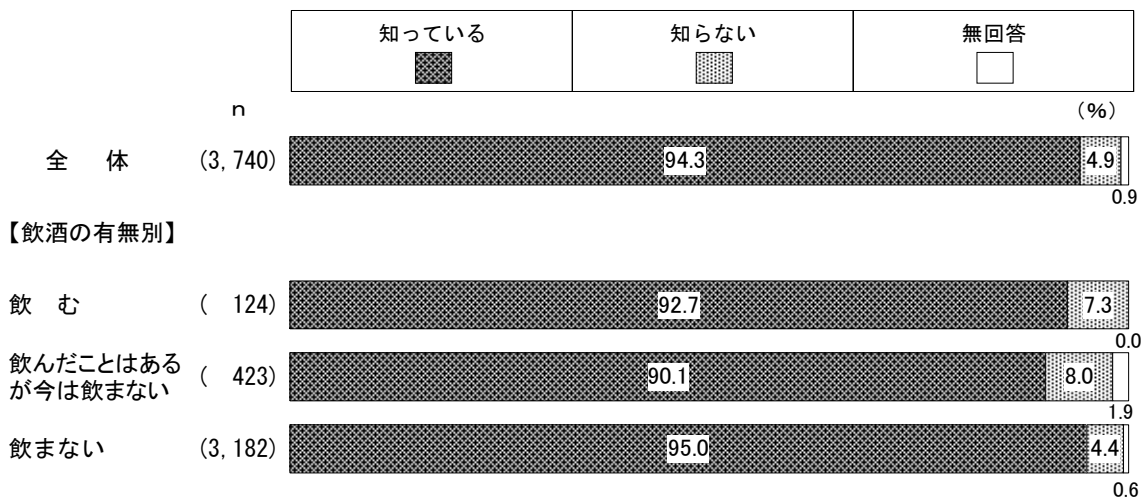


未成年の飲酒は急性アルコール中毒になりやすいことを知っているか聞いたところ、「知っている」が94.3%、「知らない」は4.9%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

図表 4-7-2 急性アルコール中毒についての認知（飲酒の有無別）



飲酒の有無別でみると、「知っている」は“飲まない人”で95.0%と高くなっている。